

第5回日本薬学教育学会大会 ワークショップ開催趣旨書

タイトル	臨床現場に必要な心構えと薬学的管理、患者に寄り添う薬剤師とは！！
オーガナイザー	1. 京都大学大学院薬学研究科 統合薬学教育開発センター 講師 津田 真弘 2. 大阪府済生会野江病院薬剤科 主任 段林 正明
概要	<p>近年、改訂モデル・コアカリキュラムの導入により、大学と臨床現場の双方において卒前教育の充実が図られている。本カリキュラムの中では、「医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。」という学習アウトカムが明記されている。薬学における臨床教育の充実を目標に、このような能力を有した薬剤師を育成するためには、薬学教育の環境整備が緊要である。そこで本ワークショップでは、薬学生をはじめ大学教員・臨床薬剤師に垣根を越えてご参加頂き、患者の急変対応や終末期の緩和ケアにおける専門性の高い薬剤師の介入方法について共有できればと考えている。実践的な研修を通じて、臨床現場に必要な心構えと薬学的管理を学ぶことにより、日常の薬剤師業務のレベルアップやさらに充実した薬学教育を展開していく一助になればと願っている。</p>